

子どもいぎいき
保育環境



大いちょうのもとで
とことん遊び込む

岐阜市立 加納幼稚園（岐阜県岐阜市）

樹齢約400年の大いちょうに見守られながら、
真剣に遊びに向かう加納幼稚園の子どもたち。
子どもたちの表情から、
自ら学ぶことが、生きる力の土台に
つながっていることが伝わってきます。
お話し／広瀬みゆき（岐阜市立加納幼稚園 園長）
監修／笠置唯美（お茶の水女子大学 特任教授）
撮影／小山正美



広瀬みゆき 園長

加納幼稚園

2園ある岐阜市立幼稚園のうちの1園。樹齢約400年の“大いちょう”が園のシンボルで、敷地内には加納城三ノ丸内の稲荷社の跡地がある。



自然のぬくもりのなかで のびのびと遊ぶ

園のシンボル、大いちよう、がそびえ立つ登山は「思い出の森」として親しまれています。いつでもそこにある大いちようは、どこか安心感があり、子どもも保育者も大好きな場所です。

「思い出の森」では多様な遊びが繰り広げられます。一段上がった石畳を利用しておうちごっこやキャンプごっこ、木々の間にある石階段では忍者ごっこなど、ある環境を生かした遊びを楽しんでいます。



イラスト：あいらしり



子どものイメージが広がるようにと、保育者がひもを張っておくと、「屋根を作ろう」「洗濯物を干さなきゃ!」と遊びが展開していきました。



夢中になって
遊びながら
さまざまな力を
身につけていく

この日はおうちごっこでバーベキューをしていました。ワイヤーネットの網とカラセロハンの炎でよりリアルに再現。



試行錯誤しながら石垣を登る3歳児。登りたいという気持ちで、挑戦する意欲を生み出します。

勾配が急な階段は危ないことを理解し、慎重に上り下りします。



滑り台の下には落ち葉の山が！
落ち葉を集めて置いておくだけで、遊びが広がります。

手作りの壁漁網とバッグを持って木の実探し。グッズがあるだけで気分は探検隊。



遊び込むための時間と環境を保障

環境設定を考えるときに大事にしていることは、子どもが「やってみよう」と興味を湧く環境を準備することです。ポイントには子どもはもちろん、大人の目線からも「楽しそう」と感じられる環境を工夫すること。

環境設定に加え、十分に遊び込める時間を確保することも大切です。たっぷり時間をかけることで生まれる大作や、毎日コツコツ挑戦することで育まれるものもあります。

今のブームはケーキ作り。初めは難しくても子どもたちは日々工夫し、さまざまな作品を生み出していきます。やりたい遊びをどんどん追究することで、探究心や創造性を育みます。



まるで本物のように作られたケーキ。指についたクリームをついなめたくなってしまふほどリアル。

＊クリームの作り方

固形のせっけんを削る→水を足す→泡立て器で泡立てる→袋に入れる→絞り出す



ケーキを作るスペースの横にはテーブルが。さまざまなごっこ遊びが展開される場です。



真剣な表情でケーキを作っているこの子の将来の夢は、パティシエです。毎日ケーキ作りをしているそう。



保管した物の色や形が変化してしまうことも。子どもはいろいろなことに気づき、新たな興味へと発展していきます。



遊び途中の物は「冷蔵庫」に入れて保管しておけます。明日も続きができるという見通しがもて、スムーズに気持ちの切り替えができます。



ケーキのトッピングに使われる木の实。「本物らしくなるように!」「もっとすてきに!」という子どもたちの願いを受けて、材料をそろえます。



子どもがなにを感じてなにに興味があるか、いっしょに遊ぶことで見えてきます。



あたたかく
受けとめてくれる
保育者の存在が
心地よい環境



遊びながら子どもの興味を高め、
新たな環境を再構成することができます。



自分の気持ちも、大好きな先生と遊びながら
共有できることがうれしいようです。

保育者もいっしょに遊び、 気づきに寄り添う

保育者も子どもといっしょに思いやり遊ぶことで、遊びのなかで体験する「おもいしろさ」「楽しさ」「不思議だね」「すてき」という経験を共有していきます。子どもの心が輝く瞬間とともに過ごし、タイムリーに寄り添うことが、子どもとの信頼関係につながっていくのです。

また、自分のやりたい遊びが実現し満足すると、活動の切り替えの合図や指導がなるとも片づけを始めます。生活全体にゆとりをもち、安心して過ごせるあたたかい環境も保育者が作っているのです。



子どもだけでは体験
できない、ダイナ
ミックな遊びを楽し
んでいます。

時間で区切るのではなく、それぞれの遊びの
区切りのタイミングで
「そろそろ片づける？」
と声をかけます。片づ
けも遊びの延長に。



保育現場
ここがポイント!

遊びのなかで育つ子どもたち

筑波大学(筑波の女子大学)

子どもたちの笑顔が輝く加納幼稚園は、立派な保育や研究会を開催するなど地域の乳幼児教育施設のセンター的役割を担っている園です。変化に富んだ園庭のあちこで、子どもたちが活躍して遊んでいます。互いに思いを出し、力を合わせて取り組む遊びのなかで育まれているのが、「自ら学ぶ」という姿勢です。そんな子どもたちの姿に驚かされるように、いきいきと動き回る先生たちの姿が見えます。結果の豊かな自然のなかで、元気いっぱい過ごす子どもたちと先生たちです。

